

第2学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 立式された問題を正確にとくことができる。
 - 具体物を操作して数量や形を見出したり、問題解決したり、表現したりすることに意欲に取り組む児童が多い。
- 課題**
- ▼ 時計を正確に読めない児童が少なからずいる。
 - ▼ 文章題を正しく読んで状況を理解し立式したり答え方を考えたりすることが難しい。
 - ▼ くり上がり、くり下がりがある計算に、苦手意識のある児童が多い。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
- ◇ 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考える力を養う。
- ◇ 2位数の加減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養う。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 前時の学習の振り返りや既習事項を確認し、本時とのつながりを示す。
- 図形など、具体物を用いて児童が直接操作できるようにする。

言語活動の工夫

- 自分の考えを書き、友達と共有する時間を設ける。

ICT活用の工夫

- 問題文等をテレビに示し、視覚的に数量を認識できるようにする。
- 自分の考えを図示し、タブレットで記録したものを共有できるようにする。

課題解決力育成の工夫

- 文章題の「分かること」「聞かれていること」を明確にし、問題に取り組む。
- 具体物や図を用いて、課題を捉えられるようにする。

達成目標

- 数の概念についての理解を深め、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算の技能を身に付けるようにする。
- 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考え、読み取ったり表現したりする力などを養う。
- 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとする態度を養う。